第２回　西小倉地域小中一貫校開校準備委員会　会議まとめ

日　時　　令和６年７月２２日（月）　１８時００分
場　所　　宇治市立西小倉小学校　ランチルーム
出席者

（委員長）

北小倉小学校学校運営協議会委員	杉本　厚夫

（副委員長）

西小倉中学校学校運営協議会委員	日野　真代

（委　員）

西小倉中学校校長	齋藤　英司	西小倉小学校校長	芦田　吉生
北小倉小学校校長	市橋　公也	南小倉小学校校長	手塚　ゆかり
西小倉小学校学校運営協議会委員	門脇　洋子	西小倉小学校学校運営協議会委員	田中　あゆみ
西小倉小学校保護者	前畑　臣吾	北小倉小学校学校運営協議会委員	石川　敦子
北小倉小学校学校運営協議会委員	田端　のり子	北小倉小学校学校運営協議会委員	中嶋　馨
北小倉小学校保護者	松村　淳志	南小倉小学校学校運営協議会委員	太寿堂　祐美
南小倉小学校学校運営協議会委員	西村　典子	南小倉小学校保護者	大友　麻美
南小倉小学校保護者	小川　保弘	南小倉小学校保護者	荻野　慎介
西小倉中学校学校運営協議会委員	栗下　加代子	西小倉中学校保護者	米村　洋行

（オブザーバー　教育委員会）

学校改革推進課長	吉川　貴之	学校改革推進課総括指導主事	坂上　敬宣
学校改革推進課	瀬野　克幸	学校改革推進課	島田　尚明

開　　会　（１８時０５分）

１．開会
　杉本委員長が開会挨拶をする。

２．開校準備委員会について
　杉本委員長が、開校準備委員会の在り方、会議の進め方について説明する。

≪質疑・応答≫
委　員：開校準備委員会は、意見交換が目的ということで、決定する場ではないということで、決定は校長先生がされるということか。
委員長：開校準備委員会は緩やかな諮問機関であり意見交換の場となる。

委　員：保護者や地域の方にも同じタイミングで委員会の内容が伝わるよう、傍聴などで公開にしてもらいたい。

委員長：公開にするかどうかは、今の意見も受けて、今後、この会議の設置者である校長先生方で検討されることになる。

委　員：開校する小中一貫校は中学校と小学校にそれぞれ校長１人、教頭１人となるのか。本来なら開校してから、２人の校長が決めることを、開校前に４名の校長で決めるということなのか。

市教委：現在、令和８年４月に開校する新たな小中一貫校の職員体制が決まっているわけではない。宇治黄檗学園にならった形で考えると、宇治黄檗学園全体の校長が１人、副校長が１人、小学校、中学校それぞれに教頭が１人となっており、それがベースにはなると考えている。今の４校長がどのようにかかわっていくかは決まっていないが、今後、新たな職員体制について検討していくことになる。

３．小中一貫校について「教育目標、目指す児童生徒像（案）」

手塚校長が「目指す児童生徒像や教育目標について、各校の取組の方向性について」説明する。

４．グループ協議・発表

杉本委員長が、グループワークについて説明する。

≪グループ協議（３０分）≫

≪グループごとの報告≫

〔A グループ〕

（学校生活）

・給食が好きな子を増やすためにもランチルームを開放して小学校１年生から中学校３年生までが一緒に給食を食べられたりメニューがオーダーできたりするような機会があるといい。

・中学校の部活動で自分がやりたいことができないということにならないように、習い事が学校でできるようなくらい部活動が充実すれば、学校が楽しく感じるのではないか。

・リラックスできる空間があるといい。

（教育課程（授業・宿題など））

・通知表がない学校があるという話も出た。頑張ったのにそのがんばりが先生に伝わっていないということもあるので、親が子どもの頑張ったことを認めてあげられる通知表のようなものをつくるということがあってもいいのかもしれない。

・家で宿題をしない子どものために、放課後の自習ルームをつくってそこにボランティアがいたり、中学生が小学生を教えたりするなどみんなで宿題をする空間があるとい

い。
・子ども同士が教え合う授業や小学生と中学生がそれぞれを参観できる機会があるといい。
(学校行事)
・運動会では順位をつけなくなっていているという話も聞くが、勝ち負けの経験ができる機会も大切だと思うので、みんなで作りあげていく体育祭があるといい。
・職業体験など様々な体験活動ができる機会があるといい。
・子どもたちが修学旅行の行程を考えられるといい。
(その他)
・タブレットの授業が多くなることと書く機会が減っていくこととの兼ね合いはどうなるのかという意見が出た。
・先生が小学生と中学生の顔を覚え、全校の児童生徒を把握できるといい。

〔B グループ〕
・話の共通点として、小中一貫校になることで、子ども、先生、保護者、地域の方が増えることで、スケールメリットを生かした取組ができるのではないかという意見が多かった。
(教育課程（授業・宿題など))
・小中一貫の文化祭をしたり地域との交流会や大学の先生を呼んで講演会を行ったりすることもできるのではないか。
・小学校と中学校で授業時間が４５分と５０分で違うので、同じことを行いにくいということが分かった。
・先生が増えることで教育内容が充実したり、教員の負担を保護者が担ったりするようなことも考えられるのではないか。
(その他)
・朝ご飯を学校で食べる取組があるといいのではないか。

〔C グループ〕
(学校生活)
・学校自体が元気な学校であってほしい。小中ばらばらなのではなく、先生同士が仲良く、小学生と中学生の交流がある学校になってほしい。
・休み時間には学年関係なく、「〇〇するから集まって」など、学年の枠を超えて仲良くできるような取組があるといい。
・吹奏楽部が中庭でコンサートをしたり地域の方も招待して自分の得意なことを披露したりするなど、子どもたち一人ひとりのいいところが伝わるような機会があるといい。
・小中でのリレー対決などもあるとおもしろい。
(教育課程（授業・宿題など))
・授業の中で、先生だけでなく子ども同士でもいいところを見つけて褒め合うなど、や

る気を持たせ、学力向上にもつなげていけるようにしてほしい。
・中学校ではロボコンに参加するなどしてもおもしろい。
・読書が学力向上にもつながっていくので、メディアセンターは家具や書架、カウンターにもこだわり、学校司書が常駐できるようにしてほしい。メディアセンターでオンライン授業ができたり外国ともつながったりできるようにしてほしい。

(その他)
・地域の方に先生になってもらったり、地域の方とともにお祭りができたりするようになるといい。

〔D グループ〕
・交流の中で、こんな学校にしたいといった夢がいっぱい出てきた。

(学校生活)
・地域とのつながりを大事にする。地域の人が部活動の指導等で学校に入れるようにする。
・制服をつくらないということもあるのではないか。
・休み時間は子どもたちがゆっくりすごせるように、学校内で動物や植物を育てて、子どもたちに命の大切さを考えられるようにしたい。

(教育課程（授業・宿題など))
・宿題は子どもたちの自主性にそって取り組めるようにしたい。
・ノーチャイムにしてはどうか。
・先生が教えるのではなく、自分の得意な科目で生徒が先生になり中学生が小学生に教える機会があってもいいのではないか。
・異年齢の交流を中学生も含めた縦割りの取組ができればいい。

(学校行事)
・保護者や地域の人が自由に入っていける空気感が生まれるといい。
・文化祭や体育祭を子どもが自分たちで作りあげられるようにしたい。

(その他)
・学校の外で子どもたちが自主的に学べる仕組みがあるといい。
・地域の祭りなどを継承して続けていけるようにする。
・宇治市で１校目の施設一体型小中一貫校である宇治黄檗学園の児童生徒との交流がオンラインでできるようにしたい。
・子どもたちの負担を少しでも減らすように、教科書はなるべく持ち帰らずに、タブレットで宿題をできるようにしてほしい。
・中学生によるスポーツレクなどを行い、小・中学生のどちらにもいい経験となる取組があるといい。

６．報告事項

坂上総括指導主事が「(仮称) 西小倉地域小中一貫校の整備内容等について」説明する。

（報告事項）

・前回（第１回）に出た質問事項について

・校名募集について

・スケジュールについて

・広報誌の名称について

≪質疑・応答≫

委　員：広報誌の名称について案をもとに校長先生が決めるというように説明があったが、前回の委員会で「次回の委員会で決める」ということになったのではないか。

市教委：先ほどの「開校準備委員会の在り方」の中で決定は校長先生方が行うということになっていたと思う。校長先生方として名称を決めるにあたってこの場で確認しておきたいことはあるか。

校　長：新しく案として出していただいた名称への思いがあれば考えられた方に聞いておきたい。

委　員：「ともに…」という名称は、子どもたち、家庭、学校、地域などこの学校に関わるもの全てで「ともに」協力して作りあげ、今後につなげていくという思いを込めて「ともに…」を考えた。

委　員：何か考えた方がいいと思い、４小中学校のどの校名にも巨椋（小倉）が入っていることから「巨椋野」を考えた。

校　長：伺ったお話を参考に広報誌名を決定していきたい。

委　員：工事がうるさいからタブレット端末を使った授業が多くなり、タブレットを使って自分で学習ができるなら学校に行かなくてもいいのではないかという生徒がいるという話を聞くが本当か。

校　長：タブレット端末を使った授業が多くなってきているのは確かだが、それは工事の音がうるさいということとは別問題。

委　員：資料⑤についていくつか質問がある。学校名のところに条例改正とあるのはどういうことか。通学見守りで交差点改良とあるが具体的に進んでいることはあるのか。入学説明会などの開校に伴う説明会とはどのようなものか。

市教委：校名については現在、公募しており、その後投票してもらい、上位数点にしぼって校名検討委員会で仮称を決定する。その後、議会に提案し、設置条例を改正して正式に名称が決定する予定。交差点改良については西小倉中学校の東門付近の交差点への信号機の設置が京都府警察で検討されている。信号機が設置されることになればそれにあわせて宇治市でも横断歩道の移設などの交差点改良を行うことになる。早ければ今年度中に実施される見込み。資料にある説明会は、４校を統合した新たな小中一貫校の開校に向けた保護者や児童生徒を対象にした説明会のことである。

委　員：開校準備委員会の位置づけは。

市教委：この開校準備委員会はあくまで意見交換の場であり、決定は学校でしていただくことになる。

委　員：今後、説明会はもうないのか。

市教委：工事についての説明会としては予定していない。ただ、先ほどの話に工事の音がうるさいという話もあったので、生徒が安心して工事期間中、学校で教育活動が行えるように適宜、必要な内容を知らせていけるようにしていきたい。

委　員：この開校準備委員会は資料⑤の「スケジュールについて」のどの部分を議論することになるのか。

市教委：開校準備委員会では、今のところ、校章・校歌・制服、通学見守りや行事、取組などについて意見をいただくことになる予定。

委　員：開校準備委員会は公開しないという話だったが、会議の内容を広く、迅速に知ってもらえるように会議録をホームページに掲載したり広報誌等で周知してほしい。

市教委：広報誌については市教委で現在、作成している。

７　閉会

杉本委員長が閉会のあいさつをする。

閉　　会　（２０時０５分）

テーマ

本日の協議を踏まえて

こんな学校がいいな

Aグループ

学校生活

- みんな仲良し
- 成功が目標になる!! 認める
- 元気いっぱい
- 図書や新しい物にすごく期待している
  ‖
  それぞれに応えられる先生と保護者のすい合わせ
- 学校は、子どもの「生活空間」リラックスできる場所
- ランチを一緒に!!
- 学食
- オーダー制の学校給食
- 部活強化
- クラブ・同好会みたいなものを作れる学校
- 9年生制のスポーツクラブ
- 小学生が中学のクラブに参加(高学年)
- 休み時間の音楽発表
- 西小倉の学年を越えて仲が良いところを伸ばした取り組み

学校行事

- 皆しなで体育祭
- 学祭
- 子どもが企画・編集する運動会
- 体験活動
- 生徒で修学旅行を考える

教育課程（授業・宿題など）

- 通知表のない学校
- わかる授業
- 学校まかせじゃない教育
- 参観をする 小↔中 (生徒達)
- 子どもが子どもを教える学校
- 放課後の自主室
- 子供主体の授業
- 訪課後宿題ルーム
- 子供先生の授業 ↓ 親・先生へ

その他

- 内容
  例えば、タブレット授業は本当い良いか
  タブレット ことばゲーム作成者の話
  ‖
  3時間以上見ると、前頭葉低下で、勉強しても、忘れるらし。
- みんなが行きたくなる学校
- 私服日のある学校
- 通学のサポート 中学生が小学生を!!
- 顔を覚えてる先生!! 生徒の…
- 北小倉地域の子は、以外に登校距離を気にしていない。
  └なぜ?

A グループ

（学校生活）	（学校行事）
・みんな仲良し ・成功が目標になる、認める ・元気いっぱい ・図書や新しいこと期待している＝先生と保護者のすり合わせ ・学校は子どもの「生活空間」リラックスできる場所 ・ランチを一緒に、学食 ・オーダー制の学校給食 ・部活強化 ・クラブ、同好会みたいなものを作れる学校 ・９年生のスポーツクラブ ・小学生が中学のクラブに参加（高学年） ・休み時間の音楽発表 ・学年を越えて仲が良いところを伸ばした取組み	・皆で体育祭 ・学際 ・子どもが企画する、編集する運動会 ・体験活動 ・生徒で修学旅行を考える
（教育課程）	**（その他）**
・通知表のない学校 ・わかる授業 ・学校まかせでない教育 ・放課後の自習室 ・子ども主体の授業 ・参観をする（小⇔中、児童生徒が） ・放課後宿題ルーム ・子どもが子どもを教える学校 ・子ども先生の授業⇒親や先生へ	・みんなが行きたくなる学校 ・顔を覚える先生 ・私服日のある学校 ・北小倉小学校地域の子は、何故、登校距離を気にしていない？ ・通学のサポートを中学生が行う ・例えば、タブレット授業は本当に良いのか、タブレットを３時間以上見ると、前頭葉低下で勉強をしても忘れるらしい

テーマ	本日の協議を踏まえて こんな学校がいいな

B グループ

学校生活

- 楽しくて一人一人の存在感があり温かい受けとめがある
- 学校へ来る楽しみをもって来る
- 縦割り活動、行事・その他。

学校行事

- 1年生から9年生までが絡める行事があればいい。
- 小中の文化祭統一
- 集団の中で一人一人の良さが感じられる行事
- 小中の交流行事の充実
- 地域の人と行事をつくる
- 思いやりを育む
- 音楽祭を開催
- 地域の関係者が参加できる学園祭

教育課程（授業・宿題など）

- ひとりひとりの興味関心知識、知りたい意欲等が受けとめられる
- 何らかの分野のトップの方の授業
- 小中の校時をあわす工夫
- 小学校の教科担任制の充実
- 地域のみんなで学びをつくる
- 大学からの出張授業
- 選択授業時間割り
- 地域の先生の授業
- 企業との連けい
- 地域の人が自由に参加できる

その他

- 地域の人の学び場
- 教員さんの負担軽減
- 生徒会への児童会研修予算づけ。
- 教事務サポーターの充実。
- 先生との交流会
- 先生をふやす
- 朝ごはんを食べれる
- 複数部活に所属
- 音楽イベントに使用。
- 探求学習の充実
- 岡崎体育コンサート

B グループ

（学校生活）	（学校行事）
・楽しく一人一人の存在感があり、温かい受け止めがある ・学校へ来る楽しみをもってくる ・縦割り活動	・1 年生から 9 年生までが絡める行事があればいい ・地域の人と行事をつくる ・小中の文化祭統一 ・思いやりを育む ・集団の中で一人一人の良さの感じられる行事 ・音楽祭の開催 ・小中の交流行事の充実 ・地域の関係者が参加できる学園祭
（教育課程）	（その他）
・一人一人の興味関心、知識、知りたい意欲等が受け入れられる ・地域のみんなで学びを作る ・何らかの分野のトップの方の授業 ・大学からの出張授業 ・企業との連携 ・小中の校時を合わせる工夫 ・選択授業、時間割 ・地域の人が自由に参加 ・小学校の教科担任制の充実 ・地域の先生の授業	・地域の人の学び場 ・先生との交流会 ・探究学習の充実 ・教員の負担軽減 ・先生を増やす ・朝ごはんを食べられる ・生徒会への児童会研修 ・複数部活に所属 ・事務サポーターの充実 ・音楽イベントに使用 ・岡崎体育コンサート

テーマ	本日の協議を踏まえて こんな学校がいいな

C グループ

学校生活

- 先生もなかよし
- 中学校の先生 ↕ 授業をし合う 小学校の先生
- げんき
- 楽しい学校生活
- 休み時間は学年関係なく楽しむ
- 学年をこえてなかよく
- 中庭でコンサート
- 地域一体

学校行事

- 特技をひろうする
- リレー対決（小と中学生）

教育課程（授業・宿題など）

- ほめる 先生から友達どうし
- 新しい学校で学力向上
- 学力 ex 国語→読書
- 習得と活用
- 基本
- やる気がでる（追求）学習
- 補習
- 中学生 ロボットコンクール出場
- 1〜9年生の交流→学習発表
- 小 北海道、沖縄とのオンライン学習
- 中 オーストラリア ニュージーランドとのオンライン学習

その他

- メディアセンター 家具と運営 木！
  - 木製！
  - バナナ型 etc
  - 面出し
  - よみきかせフロア
  - □より △（書架）
  - 司書さんがいつもいる！
- 地域の方による学習 農業、昔のくらし
- 全校で祭り（学習が発表 〃 露店）
- 小6から部活動

Ｃグループ

（学校生活）	（学校行事）
・先生も仲良し ・中学校の先生と小学校の先生が授業を持ち合う ・元気 ・楽しい学校生活 ・休み時間は学年関係なく楽しむ ・学年を越えて仲良く	・中庭でコンサート ・地域一体 ・特技を披露する ・リレー対決（小学生と中学生）
（教育課程）	（その他）
・ほめる（先生から、友達同士） ・新しい学校で学力向上 ・国語（読書活動） ・習得と活用 ・基本 ・やる気がでる学習 ・補修 ・中学生、ロボットコンクールに出場 ・１～９年生の交流⇒学習発表 ・小学生は、他府県の児童とオンライン学習 ・中学生は、海外の生徒とオンライン学習	・メディアセンターの家具を木製に ・読み聞かせスペースなど大事 ・学校司書の常設化 ・地域の方による学習（農業や昔の暮らし） ・全校で祭り（学習発表、露店） ・小学校６年生から部活動

テーマ
本日の協議を踏まえて
こんな学校がいいな
学校生活
ボランティアが放課後一緒に過ごす
部活動の充実
中学生も制服あり
疲れた時にホッとできる空間、時間
のびのび遊べる休み時間
食育・栽培
動物の飼育を通して命の尊さを学んでほしい
巨椋池ゆかりの動植物の飼育栽培
火田などで作ったもので調理（食育！）
学校行事
広報
地域にも知らせて見学可能
文化祭
体育祭
前期、中期後期別の体育会（運動会）
文化祭学園祭をプロデュース
中学生によるスポーツレクチャー
教育課程（授業・宿題など）
宿題はX自主性で
選べる宿題（しない事もあり）
学習の特長
得意分野発見！
自分の見る事発表出来る授業
一本化
チャイムを鳴らさない学校
ノーチャイムの授業があれば月に何位？
黙食
今の縦割り存続
縦割りの活動
校外学習
校外活動多い
好きなこと
好きなことやってみたいことが実現できる場
地域行事
地域あげての夏まつり（遊びのイベント）
左儀長など地域のとりくみ、フリーランドも！
一貫校
同じ一貫校の宇治黄檗学園との交流
負担軽減
教科書全て学校に置いて帰る
重すぎるカバンの解消（宿題は全てタブレット）
生徒・児童が先生になって授業をしてみる
中学生→小学生指導（学び）
個別の子どもの状況にあわせた学習環境

D グループ

（学校生活）	（学校行事）
○支援・地域 ・ボランティアが放課後に一緒に過ごす ・部活動の充実 ○制服 ・中学生の制服を無くす ○伸び伸び、居心地 ・疲れた時にホッとできる空間、時間 ・伸び伸び遊べる休み時間 ○飼育・栽培 ・動物の飼育を通して命の尊さを学んでほしい ・巨椋池ゆかりの動植物の飼育栽培 ・畑などで作ったもので調理（食育）	○中と小の連携 ・中学生によるスポーツレクチャー ○広報 ・地域にもお知らせをして見学できるように ○文化祭、体育祭 ・前期、中期、後期別の体育祭（運動会） ・文化祭、学園祭をプロデュース
（教育課程）	**（その他）**
○宿題、家庭学習 ・宿題を無くして自主性 ・選べる宿題 ○学習の特性 ・得意分野発見 ・自分の好きな事、発表できる授業 ・児童生徒が先生になって授業をする ・中学生から小学生への指導、学び ・個別の子どもの状況にあわせた学習環境 ○ノーチャイム ・チャイムを鳴らさない学校 ・ノーチャイムの日を作る ○異年齢集団 ・現状の縦割りを存続 ・縦割りの活動	○校外学習 ・校外活動が多い ○好きなこと ・好きなこと、やってみたいことが実現できる場 ○地域行事 ・地域あげての夏祭り ・左義長など地域との取組みを、フリーランド ○負担軽減 ・教材を全て学校に置いて帰る ・重すぎるカバンの解消 （宿題は全てタブレットで） ○一貫校 ・同じ小中一貫校である宇治黄檗学園との交流